

半歌仙「半夏生」の巻

捌 勝又丘女

宗祇塚白燦々と半夏生

勝又丘女

忘れ螢の止まる岩陰

河井 愛

眠れずに酒の力で夢を見て

水口英男

腓返しはマラソンのせい

鴻巣洋子

月の道目指すロマンは古代水

愛

スペースシャツル潜む蓑虫

菊池真生

ウ 賑やかに雀群がる秋の田に

洋子

あなたに触れる勇氣下さい

英男

スマホ越しいつもの声が聴きたくて

真生

AIに問う今日の献立

愛

三男坊腕白盛り膝に傷

丘女

ペルシヤ絨毯駆け回る犬

洋子

凍て月に響くコーラン闇に溶け

真生

懐手して向かう集会

愛

富士山の麓育ちのありがたき

英男

こころ高鳴る雪解けの頃

真生

さらさらと水面に揺れる枝垂れ花

洋子

明日へ向かいて跳ねる若鮎

英男

首尾 令和五年六月二十五日

於 桃園集会所